

解答例

適性検査 I

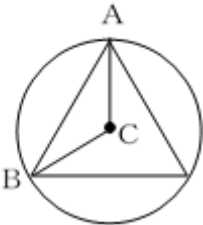
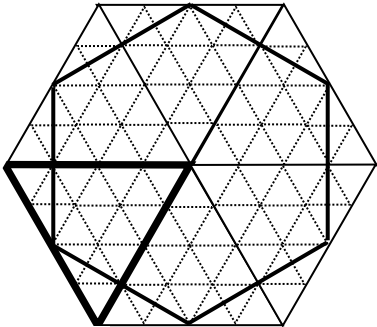
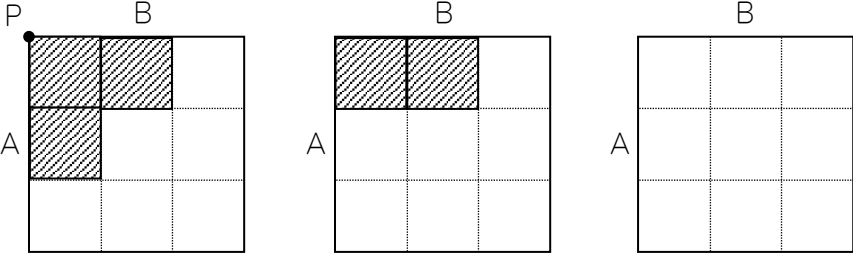
1	問題 1	思わぬ世界	10点
	問題 2	大人になる前に興味や関心をもったことを研究の対象にし、大人になってもなおぎ問をもち続け、問い直している点。	30点
	問題 3	(省略)	60点

適性検査 II

1	問題 1	<p>(1) 4.06 cm</p> <p>(2)                  [直角三角形] 20 個                  [正三角形] 10 個                  [円] 7 個                  [説明]                  1本のモールは、直角三角形を6個、正三角形を3個作るように切る。                  1本のモールは、直角三角形を6個、正三角形を2個、円を1個作るように切る。                  1本のモールは、直角三角形を6個、正三角形を1個、円を2個作るように切る。                  1本のモールは、直角三角形を2個、正三角形を4個、円を4個作るように切る。</p>	15点
	問題 2	<p>(1)</p> <p style="text-align: center;">イ <span style="float: right;">●</span></p> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">3</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">1</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">2</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">5</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">6</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">4</span> </p> <p>(2) 2, 3, 4</p>	15点

2	問題 1	1891年より後に生産量が増えているが、その理由は、ガラぼうという人の手を使った仕組みで生産されていたものが、1890年ごろになると海外から輸入したじょう気を活用したぼう績機が主流となっていたためである。	5点
	問題 2	A：京ひん工業地帯      B：中京工業地帯 C：はん神工業地帯      D：せ戸内工業地域	8点
		(共通点) AとBは、共に機械工業のわり合が高い。その理由としては、機械工業に関連する工場が多く、原料を輸入するための大きな港がそばにあったからである。	12点
問題 3	河川と海を比べると、2019年度のかんきょう基準達成率は河川が94.1%だったのに対して、海は80.5%にとどまっていることが分かる。また、資料6より産業はい水や生活はい水が海へ流れているはい水のわり合の内多くをしめていることが分かる。よって工場で一度使った水や、家庭の浴そうで使った水を再利用するなど、海へのはい水を減らす努力をすべきと考える。	15点	
3	問題 1	(1) [選んだもの]    ウ [理由]    実験1から、色がついているよごれを最もよく落とすのは、アとウであることが分かる。そして、実験2から、アとウを比べると、ウの方がより多くでんぷんのつぶを減少させることが分かるから。	14点
		(2) 5分後のつぶの数をもとにした、減少したつぶの数のわり合は、水だけの場合よりも液体ウの場合の方が大きいから。	
問題 2	(1) せんざいの量を28てきより多くしても、かんそうさせた後のふきんの重さは減少しないので、落とすことができる油の量は増加していないと分かるから。	16点	
	(2) [サラダ油が見えなくなるもの]    A   B   C   D  せんざい      てき [洗剤]      4   滴		

適性検査Ⅲ

1	問題 1	<p>図のように、円の中心から正三角形の2つの                      ちょう点に線を引いたとき、辺ABよりもち                      ょう点A、ちょう点C、ちょう点Bの順で結                      んだ線の長さの合計の方が長くなる。                      その長さは、半径が                      3 cmだから、<math>3 \times 2 = 6</math> (cm)。                      よって、正三角形の1辺の長さは直径の6 cmより短くなる。</p>		15点											
	問題 2		20点												
	問題 3	<p>  </p> <p style="text-align: center;"> <span style="margin-right: 150px;">1 段目</span> <span style="margin-right: 150px;">2 段目</span> <span>3 段目</span> </p>	15点												
2	問題 1	<p>比べ方：体長1 cmあたりの1回のジャンプで移動できる                      きより [cm] を求める。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>インパラ</th> <th>オオカンガルー</th> <th>トノサマバッタ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計算結果</td> <td>7.8</td> <td>6.7</td> <td>10.3</td> </tr> <tr> <td>順位</td> <td>2位</td> <td>3位</td> <td>1位</td> </tr> </tbody> </table>		インパラ	オオカンガルー	トノサマバッタ	計算結果	7.8	6.7	10.3	順位	2位	3位	1位	15点
		インパラ	オオカンガルー	トノサマバッタ											
計算結果	7.8	6.7	10.3												
順位	2位	3位	1位												
問題 2	<p>読み取れること</p> <p>① (㊶㊷㊸) も様の間かくがせまくなるにつれて、わり合が                      高くなっている。</p> <p>② (㊶㊹) も様の間かくが広い方が、わり合が高くなってい                      る。</p> <p>③ (㊶㊸㊷) も様の形が本物に近いものほど、わり合が高くな                      っている。</p>	25点													

	考えられること	
	・(①②) チョウはも様のちょうどよい間かくを目印に、同じ仲間のチョウを見つけている。	
	・(③) チョウはも様の面積よりも形を目印に、同じ仲間のチョウを見つけている。	
問題 3	仮説 ( 1 )	10点
	(1) 3分間に食べたえさの個数が多いほど、元気がよくなる。	
	(2) 水温25℃と10℃にそれぞれ設定した水そうに一匹ずつキンギョを入れ、同じ数のエサを入れて3分間に食べた個数を記録する。	